

調査・研修等計画届出書

令和 8 年 1 月 23 日

瀬戸市議会議長

議員名 池田 信子

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 8 年 2 月 11 日（水）10：00～12：30、13：30～16：00	
調査先・研修名	財源をつくり、破綻を防ぐ！地方財政セミナー	
会場名（会場所在地）	大阪 大阪駅前第4ビル 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-11-4	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	瀬戸市においては、少子高齢化および人口減少の進行に伴い、限られた財源の中で持続可能な行政運営を行うことが喫緊の課題となっている。 本セミナーでは、ふるさと納税や地方交付税、法定外税の活用、公有地・公共施設の収益化、さらには夕張市の財政再建事例に基づく歳出削減策等について理解を深める。 これらの知見を踏まえ、議員として建設的かつ実効性のある質問および政策提案に活かし、瀬戸市における財源確保と効率的な行政運営の推進に資することを目的として参加する。	
議長名の依頼	要 ・ ☒ 不要	依頼先（名称）
同行者名		

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 8 年 2 月 26 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 池田 信子

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 8 年 2 月 11 日（水）10：00～12：30、13：30～16：00
調査先・研修名	財源をつくり、破綻を防ぐ！地方財政セミナー
会場名（会場所在地）	大阪 大阪駅前第4ビル 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-11-4
調査・研修の目的 （今回の調査・研修 に係る瀬戸市・自己 の現状と課題を踏ま えて）	瀬戸市においては、少子高齢化および人口減少の進行に伴い、限られた財源の中で持続可能な行政運営を行うことが喫緊の課題となっている。 本セミナーでは、ふるさと納税や地方交付税、法定外税の活用、公有地・公共施設の収益化、さらには夕張市の財政再建事例に基づく歳出削減策等について理解を深める。 これらの知見を踏まえ、議員として建設的かつ実効性のある質問および政策提案に活かし、瀬戸市における財源確保と効率的な行政運営の推進に資することを目的として参加する。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
■ 研修で学んだキーワード 【議会の責任】 ・ 決算審査は翌年度予算を変える武器 ・ 予算書・決算書の附属資料を読み解く（基金残高・将来負担比率・財政指標） ・ 行政改革推進債は実質借金、安易な増債は避ける ・ 議会は市長のブレーキ役であり、政策の方向性をチェックする責任がある	

【歳入増加策（具体的手法）】

1. ふるさと納税の戦略的活用
 - 「返礼品競争」ではなく地域のファンを増やす仕組みに転換
 - 応援人口の拡大：リピーター・地域理解者の獲得
 - コト消費・トキ消費：体験型返礼品、イベント連動型企画
 - クラウドファンディング型納税：未来投資型、地域課題解決型プロジェクト
 - 旅先納税・自動販売機型納税：観光と連動した収入源
2. 企業版ふるさと納税・CSR 活用
 - 企業が喜ぶ仕組みづくり（広告効果、PR 効果）
 - 市長によるトップセールスの重要性
 - 地域企業と自治体が Win-Win になる案件設計
3. 民間の力を活かした収益確保
 - ネーミングライツ・広告収入による公共施設維持管理
 - 逆プロポーザルによる民間提案の獲得
 - 未利用地・高架下・市有財産の売却活用
 - 法定外税や特殊課税制度を活用し、新しい収益源を検討

【歳出削減策（具体的手法）】

1. 事業の優先順位と選択と集中
 - すべての事業を維持するのではなく、市民生活に直結する重要事業に資源を集中
 - 重要度の低い事業は民間活用や縮小、廃止も選択肢
2. 予算編成ルール強化
 - 財政運営基本条例を制定し、市長が変わっても持続可能な仕組みを確立
 - 中期財政計画の活用で、数年先の財政状況を見据えた予算編成
3. 民間活用・官民連携の高度化
 - 施設包括管理：施設運営・維持管理を民間に委託してコスト削減
 - PFS（成果連動型民間委託契約）：成果が出た分だけ支払う契約で、リスク軽減と効率化

■ 瀬戸市への活用イメージ

- 決算審査で課題を可視化し、翌年度予算へ反映
- ふるさと納税を地域資源・体験型に再設計し、応援人口を増やす
- 企業版ふるさと納税・CSR 案件の開拓で収益源を拡大
- 市有財産や未利用地の収益化で歳入確保
- 選択と集中・民間活用・成果連動型契約を組み合わせ、持続可能な歳出構造を構築

調査先（主な質疑・応答内容） ／ 研修（受講後の感想）

今回の研修を通して、自治体財政の本質は「将来世代への責任」であることを改めて強く認識しました。財政問題は専門的に見えますが、重要なのは持続可能な財政運営ができているかどうかという視点であり、議会の責任の重さを実感しました。

特に印象に残ったのは、決算審査は単なる過去の確認ではなく、翌年度予算を変えるための重要な機会であるという点です。議会が本気で決算を検証し、課題を明確にし、次年度予算へ反映させることができるかが、市の将来を左右すると感じました。

歳入面では、ふるさと納税を「返礼品競争」ではなく「地域のファンづくり」として戦略的に活用すること、企業版ふるさと納税や民間資金の導入を積極的に進める必要性を学びました。瀬戸市においても、地域資源を活かした体験型返礼品の充実や、企業に選ばれる仕組みづくりを強化する余地があると感じました。

また、歳出面では「選択と集中」の徹底や民間活用の推進など、構造的な見直しが必要であると学びました。限られた財源の中で、何を守り、何を見直すのかを明確にすることが、瀬戸市の持続可能な発展につながると考えます。

今回学んだ知見は、瀬戸市の財政運営の改善や政策提案に具体的に反映させることが可能であり、将来世代に責任を持てる財政運営の実現に活かしていきたいと強く感じた研修でした。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

今回、村山祥栄先生の研修に参加し、自治体財政の現状や議会の役割、歳入増収策・歳出削減策について学ぶことができました。財政問題は数字の話だけでなく、「未来世代への責任」という視点が最も重要であることを改めて認識しました。

研修を通して特に印象に残ったのは、決算審査は単なる過去の確認ではなく、翌年度予算をより良くするための重要な武器であるという点です。議会として、市長の政策を追認するのではなく、課題を明確にし、必要な修正を求めることが本来の役割であることを学びました。

歳入面では、ふるさと納税を単なる返礼品競争ではなく、地域のファンづくりや応援人口の拡大につなげる発想の転換が必要であることを学びました。具体的には、体験型やイベント連動型の返礼品、クラウドファンディング型の地域課題解決プロジェクト、旅先納税など、地域資源を活かした仕組みづくりが有効です。

また、企業版ふるさと納税やCSR案件の導入により、企業に選ばれる自治体として収益源を多角化することも可能であると感じました。加えて、ネーミングライツや未利用地活用、逆プロポーザルの導入など、民間の力を活かした財源確保も有効な手法であると学びました。一般質問や委員会等の質疑を通して提案してまいります。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jordan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
8 年 2 月 11 日	中水野	愛環	片道	高蔵寺	3.4	km	270	円		円
	高蔵寺	JR	片道	名古屋	24	km	3,740	円		円
	名古屋	新幹線	片道	新大阪	186.6	km		円	3,070	円
	新大阪	JR	片道	大阪梅田	3.8	km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

7,080 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金	等
8 年 2 月 11 日	西梅田	地下鉄	片道	なんば	4.1	km	240	円		円
	大阪難波	私鉄	片道	近鉄名古屋	189.7	km	2,860	円	2,130	円
	名古屋	JR	片道	高蔵寺	24	km	430	円		円
	高蔵寺	愛環	片道	中水野	3.4	km	270	円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

小計 5,930 円

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金	等
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

バック等による割引など 小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

13,010 円

申請額合計 (宿泊費+交通費-割引代)
13,010 円